

環境への負荷が少ない商品・サービスの優先的購入を進める地域ネットワーク

## CONTENTS

- 「2°C下げるためのグリーン購入」 ..... 1
  - エコ情報室 ..... 4
- 「2100年には、最悪の場合5.8°C気温が上昇し、88cm海面が上昇する」「京都議定書の目標を達成するために、チーム・マイナス6%に参加しよう!」「ストップ温暖化!」取り組み事例

- REPORT／「食のGP研究会」開催 ..... 6
- エコに学べ! 滋賀県環境生活協同組合 ..... 7
- 滋賀県リサイクル製品認定制度 ..... 7
- リレートーク (株)湯元館 ..... 8
- 会員発エコ商品情報 ..... 8

## 「2°C下げるためのグリーン購入」

2005年度通常総会における講演より

武蔵工業大学大学院 環境情報学研究科 教授 中原 秀樹 氏

### ■排出量が減少した後でもCO<sub>2</sub>濃度、気温、海面水位は、長い間上昇し続ける

IPCC(※注)の第3次報告書によると、20世紀中に既に0.6°C気温が上昇しています。増え続けるCO<sub>2</sub>の3分の2が化石燃料によるものだそうですが、もし仮に今日、CO<sub>2</sub>の排出量を下げることができたとしても、それが大気の中で安定化するまでには100~300年もかかります。その間にも地球温暖化は進行し続け、私たちの子や孫やその孫たちが苦しみ続ける。それに対して私たちの責任が問われることになるのです。

ですから10年後を待たずして、我々は2005年以内に何をするのか、2006年中に何をするのか、ということを考えていかねばならないのです。

毎年、企業は環境報告書の中でCO<sub>2</sub>の排出量をきちんと報告してきます。しかし問題は、これをどう削減していくのか、ということです。産業を発達させればさせるほどCO<sub>2</sub>排出量は増えるわけですから、我々の経済にはサステナビリティがあるのかどうか、自分たちがどういう解決方法に立つか、どうすれば京都議定書に約束した数字を2010年以前に達成することができるのか、180度の発想の転換をしなければ無理だということです。

### ■地球大異変の証拠

2002年に南極のラーセン氷棚が九州の大きさほども解けてしまったという話は、皆さんご存知でしょう。南太平洋に浮かぶツバルという島は、海面上昇により危機的な状況になっています。マラリアが、北半球の今まで発生しなかった地域に、どんどん発生し始めています。

日本にも昨年は台風が14個も来ました。我々は天気予報、気象情報を気にしますが、問題にしなければいけないのは「気候」なのです。その変動を50年、100年とい

PROFILE 中原 秀樹 氏  
(なかはら ひでき)



武蔵工業大学大学院  
環境情報学研究科 教授  
グリーン購入ネットワーク(GPN)代表

(財)消費者教育支援センター研究主幹、東横学園女子短大助教授、マンチェスター・メトロポリタン大学客員教授を経て現職に。主な研究分野は消費者市民教育、環境教育、環境マネジメント。消費者教育は21世紀の市民意識を育てるという消費者市民論を展開。『消費者は破壊者である』という持論をもとに、環境問題と不可分に結びついた「持続可能な消費」の大切さを訴える。

サイクルで見たときに、地球に対してどのように影響を与えてるかという視点で見ていかなければなりません。

また、環境問題と合わせて問題になってくるのが「貧困」という問題です。世界には食料不足で飢餓状況の環境難民が増えています。もし、我々の国が彼らの国と陸続きであったなら、ということを、真剣に考えねばなりません。

GPNが見て10年。グリーン調達、グリーン購入を進めてきて果たして効果があったのだろうかと考えると、我々が資源生産性を増やし、エネルギー効率を高め、ライフスタイルを変えるための活動をしてきたこの10年にもたらした結果が、こういう異常気象を招いているので

→ 次ページに続く

はないかと思われます。

2100年には50%まで北極圏の氷が解け始めると言われています。北極、南極、グリーンランド、膨大な氷が解けて、その氷は一体どこへいくのだろうかということです。こうした気候変動に関するデータは今まで科学者たちが勝手に発表していたわけですが、IPCCをはじめ日本以外の各国が、この気候変動に対する科学的コンセンサスを了承しているわけです。我々人間の生産と消費の活動が、地球温暖化に多大な影響を与えていたということは、もう逃げも隠れもできない証拠をつけられているわけなのです。

### ■消費者は破壊者である

産業革命以後、我々は大量のCO<sub>2</sub>を排出し続け、その排出と同時に豊かさを得てきた。それをその以前の形に戻さないと、地球は破滅への道をたどってしまうのです。今の豊かさと便利さを落とさずに経済成長を遂げるにはどうしたら良いのかを、生産と消費のシステムの中で考えていかなければなりません。

わずか半世紀の間に、こんなにも消費量が増加しているわけですが、有限の世界の中で、無限の成長はあり得ないのです。「我々消費者は破壊者である」という前提に立ったときに、破壊行為を止めるためにどうすれば良いか、我々の総力を挙げて解決策を考えなければいけないでしょう。

### 1950-2000の人間活動の変化（成長の限界・第3版、2004）

	1950	25年間の変化	1975	25年間の変化	2000
世界人口（100万）	2,520	160%	4,077	150%	6,067
登録された車（100万）	70	470%	328	220%	723
石油消費（100万バレル/年）	3,800	540%	20,512	130%	27,635
天然ガス消費（トリリオン・cu·ft/年）	6.5	680%	44.4	210%	94.5
石炭消費（100万トン/年）	1,400	230%	3,300	150%	5,100
発電容量（100万キロワット）	154	1040%	1,606	200%	3,240

### ■工業経済からサービス経済へ

我々が、まず一番最初にやらなければならないのが脱物質化経済であります。我々が「もの」を買う、その「もの」とは「必要とするサービスを固化して形にした」ものなのです。

「リユース」「共有」というやり方があります。例えばスウェーデンには湖沼が数多くあり、その湖や森を守るために「コインランドリー法」のようなものができています。ひとつの洗濯機を複数の人たちが使い、洗剤の種類も量もきちんとコントロールしています。資源効率性を50倍に高める方法だと言えます。

カーシェアリングなども同じような事例ですが、いかに「もの」を所有せずに済ますことができるかということが、サービスエコノミーを考える上で一番重要なポイントです。

### ■技術で環境問題は解決できる

企業の方は環境効率をどんどん向上させているそうですから、今まで以上に加速した脱物質化のための生産システムを、資源効率性を高めるための新しい技術を、何が何でも開発してほしいと思います。

2015年以後には廃棄物の中から資源を探すという生産システムになるでしょう。既にプラスチック製品とアルミ缶については、りっぱな資源として中国から日本の地方自治体に買い取りに来ていて、足りないくらいなのです。なのに我々は分別もきちんとできていない。「俺一人くらい、やらなくてもいいんじゃないの？」という意識の低さです。

何万年もかけてできた貴重な鉱物資源を、簡単にゴミにしてはいけません。そういう視点から、我々は教育者の立場でもって次の世代を担う学生たちを教育しなければならないし、同時にあなた方が多くの企業の方々は、そういう貴重なレアーメタルを使っているのだという認識で、代替資源と、その再利用を考える必要があるということです。

### 日本のエコサービス事例

小松リフト	中古フォークリフトの修理事業
シチズン時計	10年以内無償修理、その後も生涯修理対応
大阪西川	羽毛ふとんのリフォームサービス
富士写真フィルム	写るんですのリユース・リサイクルシステム
富士ゼロックス	部品のリユース、グローバルアセットマネジメント
コクヨ	OSC（エコ事務用品の一括管理システム）
エーエム・ビーエム・ジャパン	不要になった電化製品の引き取りサービス
カタログハウス	修理、リユース、再生サービス
オデッサ・テクノス	イーウェストジャパン（産業廃棄物の電子取引所）
ダスキン	レンタルシステム、モップやマット、電気掃除機
日比谷花壇	レンタルグリーン、観葉植物や人工樹林のレンタル
イトーキ	家具のリース及びリフォーム
ビッグウェーブ	自動車補修用リサイクルバーツの情報システム
フットコール	コールアカーシステムを販売
住友不動産	新築そっくりさん（改築改造サービス）
ミサワ	オーダーメード・リフォームサービス
東リ	カーペットのメンテナンスサービス
日立製作所	ESCOサービス
日本自然エネルギー	グリーン電力証書システム提供
東京海上火災	ビジネスパッケージ特約保険、グリーン火災保険等
イースクエア	エコシティ21（エコプロダクツ等の電子市場）
日本通運	車載端末による効率的集配
フジタ	フォットロード工法
神戸エコカーパスカル研究所	エコカーのレンタル

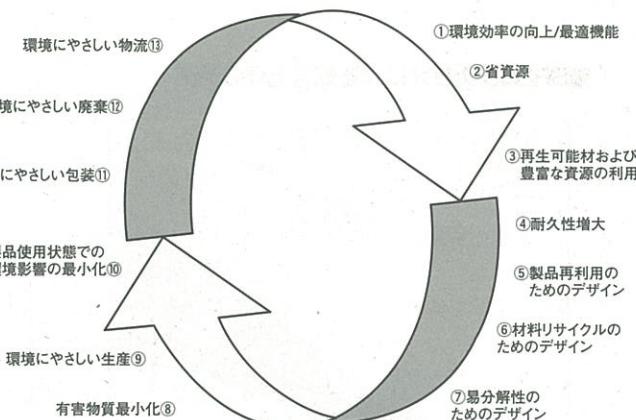
### ■グリーン商品による消費の変革

消費者は自分たちが破壊をやりながら生きていく動物なんだという前提に立って自分たちの消費行動を見直し、事業者は科学技術によって環境をどれだけ守れるのかという視点でエコデザイン、エコサービスを開発し、それが具体的になったものがグリーン商品として市場に出まわることが、私たちが環境を壊さずに経済成長していくための、唯一の方法なのです。もちろん基本は、余計なものは買わないということです。

そのためにもまずは、組織消費者である企業がグリーン購入の主導権を持つことです。企業が変われば社会が変わることです。そして企業のグリーン調達を進めるには、まずトップの力が有効なのです。経営者のマネジメントが企業を変えるのです。組織の持っている特長を生かしながら、市場をグリーン化していくのが効果的なのです。

それからこれは、中小企業や一般商店のおやじさん、おばちゃんにだって関係のある問題なのです。省エネ、ごみの分別、いくらでもやり方はある。大きなところだけがやればいいということではないのです。

### エコデザイン=Life-Cycle Design=Life-Cycle Engineering



### ■滋賀県版の環境教育システム展開を

ここでは、汚した分だけ琵琶湖が汚れるのです。それは京都、大阪を含む多くの人々にも大きな影響を与えます。正に、地球環境問題を考えるのにふさわしい縮図がここ、滋賀県にあるのです。

あなた方がトップランナーとして活動することが、実は日本社会を動かし、さらには世界的な動きに繋がる。その震源地に皆さんいるのです。

そして、グリーン購入を理解してくれる市民社会をつくるためには、やはり教育でしかないので。

GPNは来年で設立10年、滋賀GPNは昨年が5周年。10年前15才だった子供たちは25才。5年前でも20才になっているのです。もし、10年前から我々が京都議定書を真摯に受け止めて徹底した環境教育をやっていれば、その子たちは民間企業の中で、やがて中堅になる一番重要な時期なのです。

この5年間10年間、我々は社会システムを変えるために技術開発などに取り組んできました。しかし、一番重要なのは人の間の育成というものを、まったくしてこなかったのです。「人為的な」我々の経済活動・社会活動の営みが原因を起こしているのだとすれば、生産システムと消費システム、市場経済下の中での私たちのあり方を根本的に変えるためには「教育」が重要なのです。

グリーン商品とグリーンサービスを購入する人たちを育てるという教育を、今やれば、5年後には彼らが社会に出て、これをファンクラブとして支えてくれる人たちになるのです。

5年後、あっという間です。みんなまだ生きています。ぜひ、私は滋賀の5年後というものを、しっかりと見たいと思います。

※注 IPCC…気候変動に関する政府間パネル。政府間で地球温暖化問題の対策を検討するため国連環境計画と世界気象機関が1988年に共同で設立した会議。

## R E P O R T

### 「2005年度通常総会」開催報告

- 日時／2005年5月18日（水）
- 場所／滋賀県庁東館7階大会議室
- 参加者／105名

今年度より事業を「グリーン購入の情報提供」「グリーン購入の普及促進」「グリーン購入の研究推進」の3本柱で展開していくことなどが決まりました。

議事終了後の講演会では、武蔵工業大学大学院 中原秀樹教授の講演に続いて、昨年のグリーン購入大賞「優秀賞」を受賞された(株)びわこ銀行 環境推進室長の中山和郎氏から取り組み内容の発表があり、最後に各研究会より活動状況の報告がありました。今年度より「機密書類処理方法研究会」は「リサイクル研究会」に衣替え



して、県のリサイクル製品認定制度の勉強会等から取り組むこととなりました。

#### 【新活動方針】

- 1 環境に配慮した商品・サービスを滋賀から広めます。
- 2 環境保全に熱心な地域の企業・団体を優先して応援します。
- 3 グリーン購入に取り組む企業・行政・消費者（団体）の情報交換の場とします

# エコ情報室

## 2100年には、最悪の場合5.8°C気温が上昇し、88cm海面が上昇する

みんなで止めよう温暖化  
チーム・マイナス6%



今後の人団増加、経済成長、エネルギー使用量、技術の発展などによって、世界の動向が大きく変わり、排出される温室効果ガスの量は変わります。

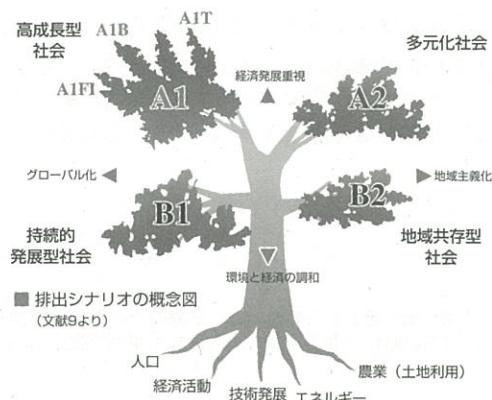
2000年にIPCCが公表した排出シナリオ(SRESシナリオ)では大きく4つの筋書きを想定しています。グローバル化と経済の急成長、人口増加、新技術導入などを想定した「高成長型(A1)シナリオ」、地域ごとの特徴を活かした発展を想定する「多様化(A2)シナリオ」、高効率技術の普及と環境負荷の低減による「持続的発展型(B1)シナリオ」、緩やかな経済成長と多様化の方向に進む「地域共生型(B2)シナリ

オ」。このうちA1シナリオは、化石燃料への依存度によってさらに3つに分かれています。

このようなシナリオから、IPCC第3次報告書では将来の気温上昇を下の図のように予測。2100年には、1.4~5.8°C気温が上がり、また海面は9~88cm上昇すると予測されています。

人間の行動、社会のあり方によって、気温や海面の上昇は大きく異なります。私たちの暮らし方を変えていくことで、温暖化を最低限のレベルに防止することもできるのです。

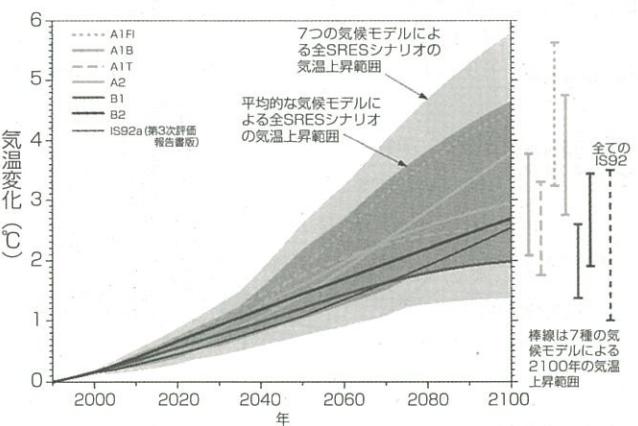
### ■排出シナリオの概念図



引用文献…環境省作成パンフレット「STOP THE 温暖化2005」

図2点の出典…IPCC編、気象庁・環境省・経済産業省監修、2002：IPCC地球温暖化第三次レポート—気候変化2001—、中央法規

### ■SRESシナリオによる気温上昇の予測



### 「ストップ温暖化！」取り組み事例

#### 省エネ、省資源を徹底



(株)びわこ銀行は、軽装勤務+28°C適正冷房を徹底し、空調機の運転時間（本館/事務センター）8時～17時を励行されています。また、金融機関では先駆的な取り組みとして、平成13年度より全店全員800人を対象に「ノーネクタイ運動」を開始、お客様にも運動の趣旨を説明して参加を呼びかけています。

昨年の本店（本館）の夏場の電力使用量は、実施前の平成12年と比較して約20%も削減できました。

#### 技術開発で貢献



田中建材（株）は、木質に関わるリサイクル技術に熱心に取り組まれています。環境に配慮した適度の弾力性のある木質舗装材「ハーモニーロードウッド」は、過熱したアスファルトと木質（廃木材のチップ）の混合技術としては日本で初めての技術です。（エコマーク取得済）都市部のヒートアイランド予防にも効果的な製品で、廃木質の二酸化炭素を歩道部に固定することにより温暖化防止にも貢献しています。

## 京都議定書の目標を達成するために、チーム・マイナス6%に参加しよう！

深刻な問題となっている地球温暖化。この解決のために世界が協力して作った京都議定書が2005年2月16日に発効しました。世界に約束した日本の目標は、温室効果ガス排出量6%の削減。これを実現するための国民的プロジェクト、それがチーム・マイナス6%です。

詳しくは、チーム・マイナス6%のホームページをご覧ください。<http://www.team-6.jp/>

### チーム・マイナス6%が提案するCO<sub>2</sub>削減のための「6つのアクション」

- 冷房は28度に設定しよう（温度調節で減らそう）
- 蛇口はこまめにしめよう（水道の使い方で減らそう）
- エコ製品を選んで買おう（商品の選び方で減らそう）
- アイドリングをなくそう（自動車の使い方で減らそう）
- 過剰包装を断ろう（買い物とゴミで減らそう）
- コンセントをこまめに抜こう（電気の使い方で減らそう）

### ●地球温暖化のメカニズム

地球は太陽からのエネルギーで暖められ、暖められた地球からも熱が放射されます。大気に含まれる二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)などの温室効果ガスは、この熱を吸収し、再び地球に戻しています。(再放射)そのおかげで、地球の平均気温は15°Cと、生物の生存に適した環境が保たれているのです。

しかし、1750年頃から始まった産業革命以降、人が大量に化石燃料を燃やして使うことにより、大気中の二酸化炭素は増え続けています。これに伴い、20世紀の100年間に、地球の平均気温は0.6°C上りました。1990年代は過去1000年で最も温暖な10年となり、1998年には観測史上最高気温を、2002年には2番目、2003年には3番目の気温を記録しました。

### ●京都議定書について

1992年の地球環境サミットで、日本を含む188カ国で気候変動枠組条約が締結されました。これは大気中の温室効果ガス(CO<sub>2</sub>等)の増大による地球の温暖化を抑止することを目的としたものです。

この条約の目的を達成するために、COP3(第3回締約国会議)で採択された議定書が京都議定書です。ここでは先進諸国に対して、2008年～2012年の間に、1990年比で温室効果ガスの削減が数値として義務づけられました(日本は6%)。日本を含む140カ国と欧州共同体が締結し、2005年2月16日、京都議定書は発効しました。

#### エコサービスの提案



(株)滋賀富士通ソフトウェアでは、用紙の使用量や保存量を大幅に削減することで「オフィスベース」削減を実現する人事給与業務向けトータルソリューション「HITOKOT for.NET」を提供しています。

多数拠点から行われる申請から承認のプロセスをWebシステム化したり、伝票の電子申請化、電子データによる照会等により、「物の使用量」や「用紙の配送」「人の移動」等の工数を削減することで、導入前より64.5%のCO<sub>2</sub>を削減します。(富士通グループの試算による)

#### 地域住民への啓発



市民、事業者、行政で構成する「おおつ環境フォーラム」(事務局：大津市環境保全課)では、市民向けの「エコチェックシート」を作成し、利用を呼びかけています。

シートには「冷房28度設定」「テレビを見ないときは消す」など、26項目の取り組みを記載。取り組み後、実践結果や電気使用量等を記入してフォーラム事務局に送っていただき、CO<sub>2</sub>削減効果等の評価を返送する仕組みで、市民ぐるみのCO<sub>2</sub>削減を目指します。

## Report

「食のグリーン購入研究会」開催(2005年7月9日(土) 参加者数53人)

## 安全・安心で、環境にもいい「食」とは？！

毎日の生活の中で最も購入頻度が多いと言える「食材」。それを「購入する」ことは、私たちが生きていく上で欠かせないことであり、「環境」を考える以前に自分自身や家族の健康を考えるためにも「選ぶ目」を持つことは重要です。

滋賀県では、より安全で安心な農産物の消費者への供給と、地域の土壤や琵琶湖の水質を守るために、環境と調和のとれた農業生産を確保しようと、「滋賀県環境こだわり農業推進条例」を制定しています。

この制度を学び、実際に生産地を見学する「食のグリーン購入研究会」による見学・研修会が開催されました。

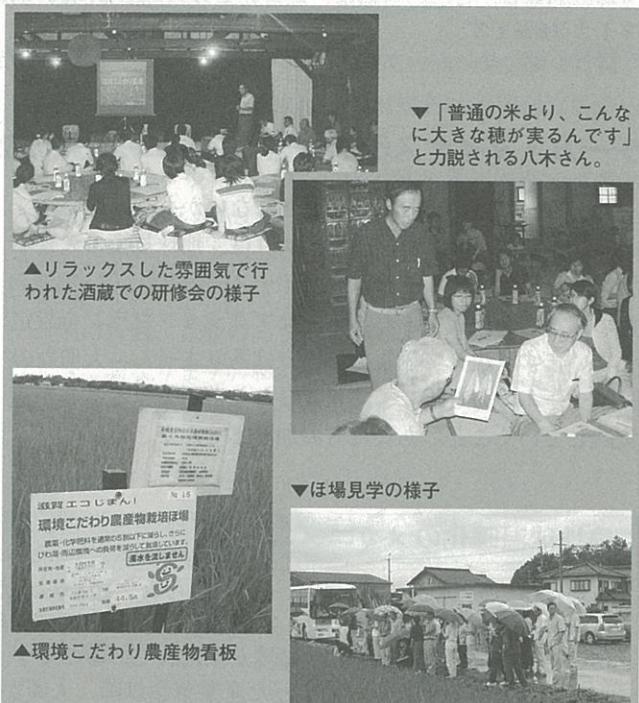
研修会の会場となったのは、豊郷町の酒造会社 岡村本家(創業150年)の酒蔵2階。はじめに、滋賀県 環境こだわり農業課 大朝副主幹から、県が進める「環境こだわり農産物認証制度」の説明を受けました。

続いて、豊郷町で集落営農を展開する吉田営農組合から、成宮栄一組合長、高橋康夫マネージャーに取り組み内容について聞きました。

吉田営農組合は集落の農地と農業を守るために、2002年に「みんなでがんばる集落営農促進事業」として設立。03年度から減農薬・減化学肥料による酒米栽培に取り組み、「県環境こだわり農産物」の認証を受けました。この酒米は岡村本家にて地産地消の地酒として醸造され、04年春より発売されました。温湯による種子消毒、通常1坪70株のところに37~42株で栽培し、収穫時期を遅らせ高品質化を図っています。また、地域事業等で環境学習に取り組むなど、地域に環境保全への意識を広げるための活動も進めています。

次に、多賀町で農業を営む八木完二さんからお話を聞きました。八木さんは「県環境こだわり農産物」認証を受ける以前から「JAS有機認証」も取得されています。多種のハーブを組み合わせて作る独自の肥料で稲を効率的に実らせる技術開発に成功され、国内はもとより海外からも取材者が訪れるという話に、参加者は興味深く耳を傾けていました。

岡村本家では従来より醸造米、かけ米とともに地元産へのこだわりがあり、これに営農組合の思いが合致し



て、地元の米、地元の水を使った正真正銘の地酒が誕生したのだということです。当日、純米大吟醸「玉栄50」が、参加者に試飲としてふるまわれましたが、香り高く、すっきりとした飲み口の美味しいお酒だと好評でした。(事務局は会場の後片付けで飲みそびれ、残念！)

酒蔵を観察した後、実際に八木さんが米作りをされている現場を見学しました。多くの微生物が生息していることを物語る無数の微細な穴の開いた、まるでメリケン粉のように柔らかい田んぼの土に触れ、「土も生きている」のだということに、参加者から感嘆の声が漏れていきました。

研修会の終わりに希望者による意見交換会を行い、参加者の交流を図りました。見学・研修会で感じた様々な思いを語り合い、食と環境との関係について熱心に議論が交わされました。また、参加者アンケートからは、「楽しく有意義だった。」「次回は収穫されたお米の試食会をしたい。」「牛舎や養鶏場なども見学してみたい。」など、今後に繋がる多数の意見が出されました。



参考>八木完二さん (RDR有機ファーム) ホームページ <http://www.rdr-1975.com/>

## エコに学べ！

## 買い物もので世界を変えませんか

滋賀県環境生活協同組合 理事長 藤井絢子さん

めたのです。

事業の柱として、ずいぶんと欲張って四つの柱を立てました。

- (1)リサイクル事業
- (2)合併処理浄化槽普及事業
- (3)環境にやさしい商品の普及事業
- (4)エコロジーマーケット開催・出前環境学習会・自然エネルギー提案・講演活動等

環境プロジェクトにおいては、1977年の赤潮発生から更に1983年のアオコへと富栄養化の進んだ琵琶湖再生を最大の課題におきました。琵琶湖の状態が悪化しているにもかかわらず、「せっけん運動」のうねりは年ごとにどんどん弱くなっています。県民の関心が琵琶湖からどんどん離れていく中で、1989年6月、全国初の環境の専門生協設立へと歩みを進



▲環境学習会の様子

## がんばる滋賀県！ 滋賀県リサイクル製品認定制度

県では、資源循環の輪の構築に向けた取組みの一つとして、主に県内で発生する循環資源(廃棄物や製造過程で発生した副産物、間伐材等)を利用し、県内事業所で製造加工される製品について、一定の基準に適合するものを「滋賀県リサイクル製品」として認定する制度を創設しました。これに伴い、第1期分の「滋賀県リサイクル製品」を3月14日から5月13日まで募集し、7月末を目処に認定作業を進めています。今後、これらの認定製品のホー

ムページへの掲載やパンフレット作成・配付を行い、普及啓発を図ります。また、公共工事等を通じて自ら率先利用に努めます(必要とする品質・性能、数量等条件に適合し、従来品と同等の価格である場合。ただし、製品購入や利用を保証するものではありません)。さらに、認定マークを制定して、市町や県民・事業者に対し、利用推奨を図ってまいります。なお、第2期の募集を今秋に行う予定です。

(滋賀県 琵琶湖環境部 資源循環推進課 循環計画推進担当)



▲環境生協の外観



▲環境にやさしい商品が並ぶ

投票行動は世界を変える可能性を秘めています。でも、パワーアップしないと可能性を本物のうねりにまで高めることはできません。

滋賀グリーン購入ネットワークの皆様の大応援で、本当に買い物での世界を変えたいと思います。出前学習会、ミニフォーラムをいたします。皆様の地域から、職場から声をかけて下さい。

お問い合わせ  
滋賀県環境生活協同組合  
(蒲生郡安土町上豊浦1273)  
TEL: 0748-46-4551 FAX: 0748-46-4550  
E-mail: econavi@mx.biwa.ne.jp

## 新規入会会員

2005年1月1日~7月20日

近江アサノコンクリート(株)、(株)テクノサイエンス、(株)うかい、日本通運(株)大津支店、(株)オギキチ、(有)ヨシノ企画、(株)ヤンマー農機関西、(株)木下カンセー、東亜工業(株)、杉本建設(株)、ロマン楽器(株)、守山ガス器具センター住設(株)、(有)彦根図書製本所、清水工業(株)、京都理化学器械(株)、(株)日本警總、(株)ヤマカワ、(株)大進自動車部品商会

現会員数: 389 (2005年7月20日現在)  
(企業319、行政37、非営利団体33)

# リレートーク Relay Talk

「だから今、グリーン購入！」

## 旅館業ならではの「エコサービス」を提供

比叡山の山並みと琵琶湖に挟まれた地形に囲まれた当館は、今年で創業76年を迎える事ができました。琵琶湖や温泉といった自然の財産があるからこそ、この地で旅館ビジネスを成立させていただいています。

法を順守し、その自然環境を積極的な行動で守ることは企業として当然の責務であると考えます。旅館は世界に誇れる民族固有の宿泊形態であり、日本文化を肌で感じることのできる素晴らしい場所です。

旅館業として他の産業に遅れを取ることなく、又その存在意義をより高める為、当館は2000年8月に旅館業単体として初めてISO14001を認証取得しました。まずは環境基本方針を確立、全従業員に社内教育を通じて明確化し、目的、目標を定め、計

画し、実施し、検証し、見直していくというサイクルは、環境問題だけでなくビジネスにも有効であり、年数を重ねる毎に、より社内体制を強固なものにしております。

「グリーン購入」については2000年度より全社的な目標として位置づけ、活動して参りました。導入基準については環境委員会において審議する場を設け導入決定をしております。2005年現在までの年度目標はいずれも100%達成で推移している状況です。パンフレットやリーフレット、企画商品のチラシを始め、エコカバーの導入や、売店での包装紙、ペーパーバッグ、宅配用ダンボール箱、事務用の文具類に至るまで、環境配慮型商品へ順次切り替えております。

(株)湯元館

環境管理事務局長  
山本 泰三さん



また、お客様に提供する食材についても、直接口にして頂く物であるため、安心してお召し上がり頂ける地元特産品の環境こだわり米に切り替えました。お蔭様で大変ご好評を頂き、お土産に購入されていくお客様もしばしばお見かけする程です。

以前は廃棄物として処理されていた紙類もルール通り部門毎に分別収集、トイレットペーパー等のリサイクル資源となっております。社員意識にも向上が見られ、今後も皆様に愛され信頼される旅館として、地域社会に貢献出来るよう努力して参ります。

次回はヒラカワガイドムさんにお願いします。



## 会員発エコ商品情報



### RVMシステム

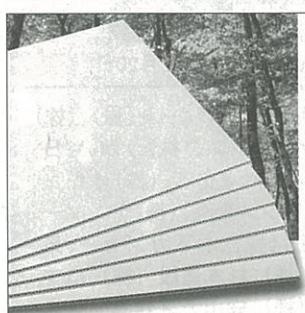
空き容器自動回収機を利用した缶・PETのリサイクルシステムです。

缶またはペットボトルを投入すると、回収機は投入物を分別、圧縮・破碎等で容積を減らして保管します。回収機内にて分別・減容・大量保管できる上、デポジット、地域通貨発行等の様々な方法による投入者

への還元も可能です。

当社では、収集物回収から再資源化・還元方法までをシステム提案すると共に、回収機の保守メンテナンスや、回収から再生までの運営支援も行っております。

<お問い合わせ> ティーエムエルデ(株)  
彦根市古沢町221-1 TEL:0749-24-7101



### 回収済み牛乳パックからできた紙製パネル「リヴァージンパネル」

新江州(株)

スーパーや学校などで回収された牛乳パック等の紙製飲料容器からバージンパルプに匹敵する上質なパルプを抽出して、再生した紙製パネルです。一般的の段ボールに比べ、硬く安定し、白地で美しい仕上がりです。また使用後は古紙として回収できるので、廃棄物処理費の軽減にもなります。

【例えばこんな所で活躍します】

- 見本市等での展示パネル
- 工場内の安全表示やスローガンパネル
- 用途は看板だけではありません。紙製のパンフレットラックや環境紙芝居用紙などアイデア次第で用途が広がります。

<お問い合わせ> 新江州(株) 開発本部  
東浅井郡びわ町川道759-3 TEL:0749-72-8722

編集・発行／滋賀グリーン購入ネットワーク事務局

〒520-0807

滋賀県大津市松本一丁目2番1号 大津合同庁舎6階  
財団法人 淡海環境保全財団内

TEL.077-510-3585 FAX.077-510-3586

E-mail:sgpn@oregano.ocn.ne.jp URL:<http://www.shigagn.gr.jp/>

デザイン／うらび企画 印刷／アイズ株式会社  
このニュースターは、GPN-GL14「オフセット印刷サービス」発注ガイドラインに基づき作成しています。  
用紙／古紙配合率100%、色度70%「OKプリント上質エコG100」  
(王子製紙) イギリスレベル2に該当する植物油含有量20%以上  
「TKハイエコ-SOYシリーズ」(東洋インキ)

**GPN** Green Purchasing Network  
印刷サービス  
印刷サービスのグリーン購入に取り組んでいます